1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　SSKU　増刊通巻第 5579 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-3337

http://www.wakuwakukan.net/

SSKU わくわくかん リボン便り

2016 年 10 月号 No. 187

シャケ Zo くん

？？なぜリボン？？

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

NPO 法人わくわくの職員研修が 9 月 3 日、「社会的事務所・共に生きる」をテーマに行なわれた。午後から二つに分かれてのグループワークの議論を参加したメンバー 2 人に書いてもらった。

〔職員研修〕地域社会でのあり方や社会的事業所で

グループワークでは、齋藤理事長と堀副理事長の話を受けて、主に地域での法人の在り方や社会的事業所について議論がされました。

地域でのあり方については、A 型事業所のご近所トラブルや GH 建設への反対意見など、やはり差別・偏見が根強くある一方で、地域へのイベントに参加することで、地域の方に理解されることもあるという意見もありました。今後もイベントへの参加を続けながら、わくわくかんがどのような組織・活動をしているかを露出することが重要であると感じられました。

また、社会的事業所については、「寛容性」が議題に上がっていました。特に他者との違いを認めることを第一に考える事業所づくりにおいて、業務の速さや正確性をどこまで受容するか、また、本人の適正に応じて、業務の種類をどのように設定するかが重要です。

社会的事業所に一番近い経営をしている A 型のスタッフからのお話で、「その人が一番輝ける業務を担当してもらっている」という言葉が非常に印象的でした。（H）

評価のあり方や「寛容性」も

私たちのグループでは、働く人の能力・特性などの多様性を認める中で、「努力する人」と「努力しない人」（その評価どうするかの議論もあるが）を同一に考えることの「違和感」についての議論がおこなわれました。

齊藤理事長から、実際には、「努力しない人」だけでは、事業の成長・待遇の改善をすることができず、「努力する人」を評価するしくみ考慮する必要性についての話があった。

参加者からは、「寛容性について、寛容にも限度がある」、「頑張っている人には、何らかの上乗せがあると良い」、「努力の有無を区別するのは、共同連の精神に反するのではないか」などの意見が上がった。

私としては、理念ももちろん大事だが、事業を担っている職員は、日々生活を送っており、家庭を持ち、平均的な生活がしたいという希望を持っている。努力に対して評価がないというのは、モチベーションが上がらず、人材の定着も難しくなる。結果、法人の利益が損なわれるため、今後、努力の有無が評価に反映される体系が必要になると考えます。（K）

＜わくわくかん 10 月予定表＞

- ✧10 月 01 日（土）　無料見学・相談会　13:00～　就労移行支援事務　リボーンプロジェクト
- ✧10 月 08 日（土）　はたらっくす　16:00～　自立訓練室
- ✧10 月 17 日（月）　事業運営委員会　15:00～
- ✧10 月 22－23 日　アジア障害者交流会　名古屋・今池ガスビル 7F
- ✧10 月 24 日（月）　現場協議会　16:30～　スカイブリッジ
- ✧10 月 25 日（火）　家族懇談会　16:00～　自立訓練室

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 5579 号

わくわく配食サービス

就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

～さつまいもときゅうりのあわせ～

【材料】　4 人分
さつまいも――――1 本
きゅうり――――2 本
マヨネーズ――――大サジ 4

【作り方】
① さつまいもは皮をむき、1.5ｃｍ角に切り、水にさらしておく。
② きゅうりは 0.5ｃｍ厚さのいちょう切りにし、塩もみしておく。
③ ①をゆでる。
④ さつまいもの中まで火が通ったら、ザルにあげ、水気を切っておく。
⑤ ④が冷めたら、ボウルに入れ、水気をしぼった②を加えてマヨネーズで和える。

♣さつまいも
主成分はでんぷんで加熱すると一部が糖質にかわり甘みが増します。しかしカロリーは米や小麦の 1/3 程度と低くビタミン C や食物繊維がたっぷり含まれているので体の外も内もきれいにしてくれる女性にうれしい野菜です。ほかにもビタミン E やカリウム、カルシウム、マグネシウム、銅などのミネラルも比較的多く含まれています。

～暑い夏が終り～
働く仲間がふえて

暑い夏が終わり、楽しみにしていました秋が来たと思いきや、雨続きの毎日で配達のある配食サービスにとってはなかなか喜べません。そんなところ先日嬉しいニュースがありました。9月の「福祉の仕事フェア」にドライバーさんを求めてブースを出したところ、6人もの方からお声をかけていただきました。うち５人の方が面接に来て下さり３人の方が先週から一緒に働くことになりました。週の半分の日が自動車１台という中、大変有り難い話です。思えばこの半年間みんなの力を合わせながらよく乗り越えてきたな、と感心しています。

また７月、８月と１名ずつ当事者も増え、新しい方々には私たちが弱かった部分を補っていただいていて大変頼もしく感じています。そのことによって私たちの職場も今まで以上に落ち着き集中して仕事に取り組めるようになっています。
今年の夏は特別暑かったわけでもなかったのですが、後半は雨もあったためかいつもにも増して疲れてしまいました。先週は２日間有給休暇を取り日曜日を入れ３日間休みました。私たち配食サービスは祝祭日が出勤なのでなかなか連休が取れず、秋のシルバーウィークも全然嬉しくありません。でも先週休んでみて感じたのは、秋休みがあるといいなということでした。疲れも取れましたしリフレッシュもできました。来年もシルバーウィークの頃に有給休暇を取り身体を休ませることも大事だと思っています。（I.H.）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 5579 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F TEL 03-5963-6888

「これが私の生きる道！？ ーヲタクのススメー」

「…光る棒を振りながら、『ハイ！ハイ！ハイ！』って…！！」
「…それ、アニソン（アニメソング）のライブです。」
大好きなアーティストのライブや声優のイベントに全力で参戦し、家では楽しくアニメ鑑賞。時には一人でカラオケボックスに行き、アーティストになりきって熱唱。これが私の趣味であり、生きがいである。
《昔から音楽は私を助けてくれる。病気になってすぐの頃は中々音楽を楽しむ気力が無かったが、ふとしたきっかけで出会った楽曲に涙した。それから色々なアーティストやアニメに興味を持つようになり、徐々に自分の世界が色彩を取り戻した。》
しかし、ライブやイベントに行くためには体力を取り戻さなくてはならない。まずは、生活リズムを整えよう。そんなきっかけで響に通い始めた。何度か挫折はあったものの、今では《前述のように》趣味を思いっ切り楽しめるようになった。趣味のために日々を少しだけ頑張って生きる。仕事一辺倒だった自分が変われたのは、病気になって、響に通所できているおかげかもしれない。懐は厳しくなる一方だが…。とにかくヲタク万歳！！何かに没頭できるって、最高！　　［ヲタクのS］

犬さんの似顔絵コーナー

この男性は誰でしょうか？
答えは来月号です！

9 月号の答え

広瀬すず

♪響のプログラム紹介♪

「スポーツの秋」ということで、ひびきのスポーツプログラム「体動かすかい」についてご紹介します！障害者総合スポーツセンター「スポセン」まで行って体を動かすプログラムです。
　まず、始めにストレッチ（これは大事！！）を円になって始めます。1 人 1 ヶ所（例えば、アキレス腱など）を順に選んでやります。ストレッチが終われば、次に大縄跳び。スタッフさんが回す大縄の中を 1 人 1 人順に飛んで行きます。これが簡単そうに思えて、難しいんです。なので、上手く飛べるとガッツポーズをするくらい。1 人 1 人が数回飛んだら 3～4 人、1 チームになって連続飛びに挑戦！そろわないとなかなか終わらず、しだいに跳ぶ回数が減ってきます。その後は、50 ㎝ぐらいのやわらかいボールを使ってソフトバレーをやります。1 チーム、3～5 人で対戦しますが、打ち返したボールが、右に行ったり左に行ったり、あげくのはてには、味方の頭にぶつかるなど、ボールの行方は気ままです。スポーツ後のメリットは、
①スポーツ後のごはんがおいしい
②汗かいて、気持ちも体がスッキリする
③楽しんで帰ってこれる
④皆と交流ができる

がありますので、皆さん一緒に汗をかきましょう！？
（ひびきメンバー：H&K）

ひびきに通い始めてからの変化について、メンバーから聞きました！

・最初はドキドキしながら通っていましたが、お友達ができたり、みなさんやさしくして下さったので、だんだん響に慣れ、私の居心地のいい、なくてはならない場所になりました。おちゃのこ祭祭への参加は、調理やアクセサリーの値付け等、仕事の勉強になり工賃も頂け出勤させて頂いて良かったです。前は外出のプログラムの次の日はつかれて来れなかったのですが、今は来れるようになり体力もつきました。　（H）
・ひびきに通うことによって精神的に楽になりました。利用者さんが良い方ばかりなので自分自身もやさしくなることができました。利用者さんの顔を見る事によって自分自身安心する事ができ、変わることができた。　（K.O）
・規則正しい生活を送れるようになった。姿勢をなおすようになった。家事もするようになった。病気も安定してきた。　（T）

新プログラム「健康チェックスタート♪」

☆ひびきメンバーの食べすぎに危機感を覚えた、スタッフさん。この度生活習慣病予防のため「健康チェック」というプログラムがスタートしました。メンバーから、ブーイングの嵐！！の中、強行されました…（苦笑）！！
　チェックする項目は、身長・体重・体脂肪率・BMI です。メンバーはおびえながらも測定し、個々で結果を出します。測定に喜ぶ人とショックを受ける人、それぞれいましたが、これからの生活を考える良いきっかけになったのではないでしょうか？この「健康チェック」はこれからも 2 週間に 1 回、全メンバーに行われます（T∧T）
　いつか、スタッフさんの結果もチェックしようとたくらむメンバー達です！！（^_^）
（ひびきメンバー、S、F、O）

1998年10月9日第三種郵便物認可　　（毎月3回8の日発行）
2016年10月6日発行　　SSKU　　増刊通巻第 5579 号

就労移行支援事業

リボーンプロジェクト

講座・模擬企業

〒114-0032　東京都北区中十条１－２－18
北区障害者福祉センター４Ｆ　Tel：03-5963-6888

ゲーミフィケーションを用いた業務訓練

～　メンバーのモチベーションを維持する取り組み　～

「ゲーミフィケーション」という言葉を聞いて、頭をひねる人も多いかもしれません。この言葉は、課題の解決や顧客ロイヤリティの向上にゲームデザインの技術やメカニズムを利用する活動全般のことで、「日常生活のさまざまな要素をゲームの形にする」という「ゲーム化：(gamefy)」から派生し、2010 年から使用され始めました。特に真面目な方は、その言葉の響きから、「ゲーム？仕事にゲームを持ち込むなんて、不謹慎だ。」と感じる人もきっといらっしゃるでしょう。しかし、ゲーミフィケーションの考え方は、私たちを良い意味で刺激し、仕事や訓練へのモチベーションを維持してくれる大変画期的なシステムです。特に大手有名企業でも積極的に取り入れられ、その有用性から 2012 年には日本初のゲーミフィケーション専門企業が立ち上がるほどです。モチベーションには、外部からの報酬などによる「外的動機付け」と自らの自己満足や〇〇をしたいという気持ちによる「内的動機付け」とがあります。ゲーミフィケーションは、こ

の両方を刺激して、モチベーションの維持に役立つと考えられます。

リボーンでは、9 月より一部の定常業務である A 型配食サービスの食券作成の業務や法人スタッフのタイムカードの入力の業務に対して、このゲーミフィケーションのシステムを取り入れ、メンバー一人ひとりの普段行っている業務のさらなる正確性やスピードをアップさせ、取り掛かれる業務の種類を増やそうと考えています。今後は 9 月中に通所されているメンバーに方法を説明して、取り組みを始めようと計画しています。

福祉のしごと総合フェアに参加

9 月 9 日に北とぴあで、今年度二回目の福祉のしごと総合フェアがあり、わくわくかんも求人のブースを出しました。また、おにぎり・焼きそばや手作り小物等の販売で参加しました。今回はリボーンプロジェクトの訓練生 2 名が初めて販売に参加され、その他 A 型や響の方も含めて計 5 名で売り子をしました。

ここ 1，2 年の傾向ですが、求人を行う事業所が激増する一方で、求人に応募する方はどんどん減少しており、販売ブースに参加する事業所も減少しています。

来場者数が少ない中で、手作りの小物が結構売れ、食べ物も何とか完売にこぎつくことができました。参加された方の感想や現場の様子をご紹介します。

＜好奇心旺盛な人さんの感想＞

・大変だったこと
時にはお客様が来ず、立ち続けることもありました。がんばって協力して準備をしたのに、お客様が来ず、時間がなくなるのは少し勿体ないと思いました。

・うれしかったこと
お客様に商品を買っていただいたことが、とくにうれしいです。お客様的にも気に入るものがあったり、作った方や売る人的にも喜びを感じると思います。

・頑張ったこと
お客様に説明をしたり、商品を大事に扱うよう頑張りました。

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　SSKU　増刊通巻第 5579 号

9 月 14 日にリボーンと響が合同で「納涼祭」を行いました。センターに通うもの同士みんなで楽しもうと対抗ゲームを含む企画は、初めての試みでした。おかげさまで当日は大変盛り上がり、充実した一日となりました。

響 VS リボーン　納涼祭

企画・準備　今回の企画は６月に持ち上がり、７月以降響とリボーンで何度かミーティングを重ねて、内容を決めていきました。

制作　ゲームやクイズで使う小物や貼り紙、飾りなどは、大部分を響とリボーンが自分たちで事前に制作をしました。これまで数々のイベントの準備を行ってきたので、スムーズに出来ました。

調理　リボーンが天ぷら、響がおにぎりで分担して、みんなで調理をしました。おいしいものが出来ました。

流しそうめん　竹４本を使い、響の部屋からベランダへ流れるよう配置して、本格的な流しそうめんをしました。ぶっつけ本番でしたが、みんな満腹になるまでそうめんを堪能できました。

ゲーム　午後はリボーンと響の対抗で、ゲーム大会を行いました。ペットボトルを使ったボウリングはリボーンの勝利、手製のゴム鉄砲を使った射的は響の勝利、スタッフの個人ネタで盛り上がったクイズ大会は響の勝利となり、響の勝ちで幕を閉じました。（カットは標的、写真は射撃する参加者）

＜みんなの感想＞

★準備の段階から納涼祭は始まっていた。サクサクのちくわの天ぷらをサクサク作った。流しそうめんは一番上流で、おそらく一番食べてしまったことを大人げなかったと反省している。ボウリングで 2 回連続ストライクは気分も高揚したが、射的では 1 つも倒せず不発で意気消沈。最後のクイズは難問もあり、頭をひねった。(O.H)

★納涼祭はおにぎり、天ぷら、そうめんなどおいしいものが出てきてうれしかった。クイズ大会は参加できなかったけど、とても楽しかった。(K.O.)

★おにぎりと天ぷらがおいしかった。流しそうめんはいっぱいたべられてよかった。射てき、ボーリング大会はリボーンとのはくねつした戦いがありたのしかった。クイズ大会はスタッフの人たちのクイズでもりあがりました。(H.O.)

★小さい時、食べた、流しそうめんも、おにぎりも、天ぷらも、とても、おいしくて、女子で作ったおにぎりを、男性に、ほめて頂き、うれしかったです。こんなにと思うほど、楽しかったです。ありがとうございます。(T・H)

★普段のパソコンや、食券の裁断、スキルｕｐを心掛ける事とちがい、楽しんで、息抜きできました。「流しそうめん」は、私の所で、はり金がついていて、そこで、そうめんが止まったので、沢山食べる事が出来ました。「流しそうめん」は、人生で初めてだったので、非常に、エキサイティングな経験となりました。とても、楽しかったです。(T.T)

★みんなで、おにぎりをいっぱい作りました。あんなにいっぱいおにぎりを作った事は無かったので、いい機会になりました。流しそうめんは、楽しかったです。ゲーム大会で、クイズがおもしろかったです。(S・Y)

★初めてのリボーンと響の共同プログラムとして企画された納涼祭　K さんから提供された竹を使っての流しそうめん。自分は下の方に陣取ったのが良かったのか、思った以上にそうめんが流れて来て、思いきり食べて楽しむ事が出来ました。女性の方々が協力して作ってもらったおにぎりやてんぷらもおいしかったです。午後は、ボーリングや射的等ゲームで盛り上がり大変楽しかった。良ければ、来年、来々年と恒例になるとうれしいです。(T・K)

★流しそうめんやしゃてきなどおいしかったしごむでっぽうで打ったりしてうまいぼうなどの賞品などを当てたりしていろいろと楽しかったです。(I)

★そうめん流し、ゲームなど大変楽しかった。また、来年もたのしみにしています。(H.T.)

★ふだん、あいさつくらいしかできない、リボーンの方々と楽しい、一時を過ごせて、親ぼくが、少し深まったと思い、喜んでおります。(Y.T)

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　SSKU　増刊通巻第 5579 号

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　SSKU　増刊通巻第 5579 号

第 33 回共同連全国大会　発祥の地・大阪で開催

めっちゃ　ごちゃまぜ　ええやんか！

第 33 回共同連全国大会は共同連発祥の地・大阪に「めっちゃごちゃまぜ　ええやんか！～ひとりひとりの人生ちゃう？みんなで支え合おうや～」の元、9 月 24～25 日にかけて堺市のビッグ・アイで、共同連大会始まって以来の 500 人を超える参加者が集まって、迫力ある分科会議論や交流会パフォーマンステにぎやかに行われた。（写真はパフォーマンス大会の「交流会」会場）

結束力みせた実行委員会の若い力
団体と個人の一人ひとりが自分らしく

今回の大会で一番目立ったことは大阪実行委員会の充実だ。障がいある者・ない者の「共に」の結束力、それも若い力の活躍で見事にやり遂げた。前日 60 人をこす実行委員会には、井上康実行委員長（クリエーティブサポートセンター・えーぜっとの会）が「この大会は相模原事件もあって、団体も個人もすごく問われている。一人ひとりを大切に自分らしい大会にしよう」のことばに始まった。今回の T シャツを飾る似顔絵や写真パンフまで出た井上さんは、今大会の運営に係わる実行委員は 30 代～40 代前半の世代を中心に広範な世代の百科繚乱な個性が集まったといいきる。永田千砂事務局長（ちまちま工房）が 39 頁もの細かな最終確定版の運営要綱を読み上げ、確認していく。大阪は共同連発祥の伝統を背負うとともに、この大会は排除にあうさまざまな団体・グループを繋いで新たにつくられた。実行委員会を構成した所属は、ラブとよネット、豊中市障害者就労雇用支援センター、エルチャレンジ、まちかどプロジェクト、くれおカレッジ、あんふぁんカフェ、かすみ荘、lsh、印刷工房ルーツ、アクティブセンターうだ、マブイ六甲、共に自立アクション、関西ニューブロック、ピースクラブ、ニュースタート関西、日本スローワーク協会など多彩だ。事務局はナイス田岡秀明さんと板谷恵司（ビッグ・アイ副館長）が固め細かいセッティングと器材、用具の担当を確認、さらに交流会食事の手配や会場誘導や駐車場、受付、販売受付のスタッフと学生ボランティア配置がテキパキと勧められた。参加人数が増えたため泉が丘センタービルの 2 会場が増設された。

当日の司会は、かつての「差別と闘う共同連全国連合」初代代表の森本秀治さんの息子満さん（ピースクラブ）、世代交代をあざやかに印象付けた。こうして、帰ってきた共同連全国大会の幕は開いた。団体と個人の個性が花ひらき、これからの地域の相互扶助を象徴する「めつちゃ　ごちゃまぜ　ええやんか！」の開幕はこうして準備された。

「地域共生」めぐる 2 つの道―基調報告

齋藤縣三共同連事務局長は「基調報告」で、この大会が、新しい世代へのバトンタッチの始まりと切出し、共働事業所から社会的事業所への転換をすすめてきたこと、動き始めた生活困窮者自立支援法も今のところ不十分にしか機能せず、安保法制・憲法改悪の流れは一層社会保障・社会福祉の充実が遠のいていく時代と語りました。

そうした中での相模原事件の大きな原因は重度知的障害者隔離収容施設にあると指摘、他方で「我が事、丸ごと地域共生社会実現本部」のようにこれまでの福祉を見直す動きがあり、共同連の「共に生き、共に働く」取組み、「社会的事業所」の実現がいっそう問われている時代と強調しました。

緊急　ストップ「個別カルテ」を訴え

「緊急アピール」として「障害児を普通学校へ・全国連絡会」の高木千枝子さんからストップ「個別カルテ」が訴えられました。「医学モデルから社会モデルへ」の転換が世界的な流れの中で、文科省が５月１５日に「障害のある子どもを小学校から高校まで一貫して支援し、進学や就労につなげるため、「個別カルテ」を作るよう各校に義務付ける方針を固めた」という報道がされ、「カルテ」に象徴されるように医学モデルへの逆流が起こっています。幼児から小・中・高・大学から社会に出てからも管理の対象としていく安倍内閣の教育再生実行委員会の能力で分断する差別と分離のためのカルテに反対して行動をおこそうと呼びかけがされました。

韓国障碍人差別撤廃連帯があいさつ

連帯挨拶は「韓国障碍人差別撤廃連帯」の 12 名の闘う仲間のビデオと横幕をもっての迫力ある登場。「障がい者を、効率や競争の中で劣った価値のない者としてみる資本主義に対抗し、彼らの尊厳と価値を守り、彼らの人権を取り戻すため、連帯している団体」と挨拶しました。韓国の社会福祉にある認定制は、家族に扶養義務を課すものとして「障害等級制廃止しろ！」「扶養義務性廃止しろ！」と制度改革を書き込んだ横断幕をそれぞれがかかげて登壇しました。（写真上）

超党派でソーシャル・ファーム議連
阿部知子議員が特別報告

大会２日目の特別報告は、阿部知子衆議院議員がソーシャル・ファーム推進議員連盟の動きについて報告しました。

この話は、都知事になる前に、自民党の小池百合子さんから直接よびかけられたと断って、今年５月に、阿部知子、井坂信彦、柿沢未途、鴨下一郎、川崎二郎、岸本周平、木村弥生、小池百合子、上月良祐、塩谷立、高木美智子、滝波宏文、武見敬三、田村憲久、辻本清美、丹羽雄哉、野田聖子、初鹿明博、鳩山邦夫、古屋範子、森まさこの超党派でつくられたいきさつを紹介しました。

雇用形態として非正規雇用が３分の 1 を占めるなか、障がい者、ニートや引きこもりの若者、高齢者、難病患者、ホームレス、刑余者など社会的にハンディを持った人びとに仕事などを通じて社会とのつながりを創る“社会的企業”の創出が必要であり、その手段として「ソーシャル・ファーム」が重要なものと位置づけて生まれた。呼びかけ人の小池百合子さんがいなくなったが、東京都での小池知事に取りくみを期待し、国会内でも仕切り直して頑張りたいと語りました。

くまもと労働センターが昨年に続き優勝！　パフォーマンス大会

パフォーマンス大会に 10 グループ

前座は、糸をかしちんどん　てんてこまい座が会場巡回とステージパフォーマンス。
続いて、ボランティア参加の大阪体育大学ダブルダッチ同好会が見事な華縄麗（かじょーる）の縄を使っての集団体操演技。

そして、いよいよパフォーマンス大会。フラダンスのチームみのおに続いて歌とギターのピースクラブバンド。歌で勝負のウタノチカラ、ダンス（千本桜）の共働事業所かすみ**荘、**東北からやって来たソレイユ＆コッペ with ユワイチからは仙台すずめおどり。ワーカーズ・コレティブ　スーユンタンの歌、北海道たつかーむも歌を一曲披露。ダンスの STUMP につづいて、宮澤秀一とわくわくかんのギター語りの「上を向いて歩こう」、ラストは仮装と歌と踊りのくまもと障害者労働センター。

大震災の中、元気に舞台広しとパフォーマンスを演じたくまもと障害者労働センターが優勝、みごと二連覇を達成しました。

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　SSKU　増刊通巻第 5579 号

わくわくかん共同連大会参加者の感想

第１分科会 学ぶ 「ともに」から私たちが伝えたいこと

当事者の顔のみえる関係づくり

第 1 分科会では「学ぶ」をテーマに 3 名の障がい当事者が、学校の思い出話や家族との関わりなどを話してくださいました。コーディネーターを務めた、えーぜっとの会の井上康さんは 8 歳まで自宅で過ごし、8 歳から 36 歳までは養護学校、施設で暮らし、36 歳からはヘルパーを利用しながらひとり暮らしをしています。

発題者のNPO 法人 CIL 豊中の上田哲郎さんは肢体不自由児通園施設、養護学校へ入学しましたが 3 年生の時に地域の公立小学校へ転校し、中学、高校へと進み、障害者職業能力開発校を経て大学まで通われました。前田蓮さんは現在高校 2 年生ですが、小学校から地域の学校に通っています。

車椅子が珍しかったのかクラスメイトが押すことを取り合ってくれた、友達とはおにごっこやドッジボールなど一般的な遊びをしたが特別ルールを設けてもらったとの話題から、小さな頃から身近に障がい者がいることで偏見がなくなるのではないか、分けて生活しているから戸惑ったり、理解がなかったりするのではないかとの意見が述べられた。また、学校に対しては、受験上の配慮や設備上の問題、学校行事への参加の仕方についてなど様々な壁があったけれども、自ら情報を集め、話し合いを重ねたとの経験談がありました。さらに、初恋やデートの思い出には、養護学校ではそういった話はタブー視されている雰囲気があり、とても羨ましいと井上さんが話しました。

障がい者との関わりのない人たちは勝手なイメージをするため、顔の見える関係をつくっていかなければ差別はなくならない。そのためには、当事者は積極的に地域に出て、親は子離れをしなければいけない。障がい者が地域で生きるには勇気や覚悟がいるという人もいるが、勇気がないと地域で生きられない状況こそがおかしい。また、健常者にとって当たり前のことを障がい者がすると「すごいな」と思われるが、そうではなく、当たり前のことが当たり前にすることができるようにならなければいけないとの結論になりました。（T）

「交流会」でのちんどん屋

第３分科会　事業振興

異なった事業分野の試みに感動

大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合（愛称：エル・チャレンジ）事務局長丸尾亮良さんは、エル・チャレンジは福祉と労働のすき間を埋める中間的な役割で、1 日 4 時間働けるのであれば就職につなげていきたいとおっしゃっていました。悪質な業者とはしっかり向き合っていくということもおっしゃっていて、自らも向き合っていきたい問題であると感じることが出来ました。

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団　理事の玉木信博さんのお話からは、林業などである程度形が出来てきたら、NPO 法人より農林水産法人などの法人格でするといったような具体的な手法も数々学ぶことができました。組合員として働かれている方たちは６～７万円の収入ということでしたが、山間部での暮らしにおいて、十分に生きていくことの出来る額です。その中で組合員として生きていくことは、今まで知らなかった私にとって、全く新しい生き方なのだと感動することができました。

NPO 法人山形自立支援創業事業舎　みちのく屋台こんにゃく道場　代表の齋藤淳さんからは、山形県で行われている就労継続支援 B 型、こんにゃく道場での戦略について参考にさせて頂きたいお話を聞くことが出来ました。自動車 4 台を使った移動販売のみで施設を持たない点、焦る人もいるので決まった勤務時間は決めていないという点、スーパーの一画での販売、ここが就労場所（会社）と考え、就労を重ねる方には、福祉企業として実績を積み重ね収益をあげて、経済的自立を目指していくという点において、共感し、新しい視点を得ることができました。（F）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　SSKU　増刊通巻第 5579 号

第 5 分科会『社会的事業所って？入門編～』

常勤職員の能力の高さが要求されている 1?

講演者の内田氏が代表を務める「くらしの宝島」は総勢 11 名のリサイクルショップを個人事業として運営。内、7 名が手帳所持者。収入は、給付金で 1 千万、収益で 1,500 万。当事者と職員の割合を考えると、職員の能力の高さが伺える。

初めて共同連の理念を聞いた時「障がい者のために働きやすい職場を作ることは、自分たちの働きやすい職場を作るということ。」障がい者のためではなく、自分たちのためというところが、偽善的ではないと感じ、感動したのを覚えている。しかし紹介された「くらしの宝島」や、前年度のわくわくかんの A 型では、障がい者と同一賃金で働くためには、常勤職員の能力の高さが要求されているように感じるふしが幾度となくあった。

以前、わっぱんのパン工房を見学した際、たくさんの障がい者が工房に集まっていたが、車椅子に座り、ただその場に居るだけの彼もまた、同一賃金を受取っている。GH の I さんは、B 型でフルタイムで働いても 1 万円足らず。それでも彼女は、交通費を使い込んでしまった日はバスにも乗れずに歩き、雪の日も台風の日も風邪をひいた日も出勤している。休むよう促したら「自分が行かないと、皆に迷惑が掛かる。」と誇りを持って言っていた。もちろん友人を大切に思う彼女の性格からだが、福祉サービスという枠が、事業所に、一人ひとりに責任を持たせる余裕を与えているようにも感じた。

聞けば聞くほど、謎が深まる共同連。ちょっとやそっと聞くぐらいでは、到底理解出来ない。自ら飛び込む事が必要なのだと痛感した大阪大会でした。　（N）

第 7 分科会「生活困窮者自立支援法」

抜本的な出口にならず、企業にもメリットなし

私は第 7 分科会に参加した。「生活困窮者支援」と書いてあるその分科会はわくわくかんの理事長が発題者の一人なので、私は選んだ。まず印象に残った言葉を上げるのなら、「生活困窮者」とは誰なのか？という事である。どうやら生活保護より収入のない人達のことを言うらしいことはわかった。その中で斉藤理事長は「生活の保障のない中で訓練はできない」という。

中間的就労とはどうやら現状では、職業訓練のことを指すらしい。「抜本的な出口」がないらしい。そして、真の困窮者はその日のお金にも困っている人であるらしい。そういう人は「ちゃんとした仕事でなくてもお金になる」ならやってしまうらしい。犯罪や、実は刑務所よりもひどい労働といわれるブラック企業にのみこまれていくのだろうと私は理解した。

一般企業は中間的就労の認定のメリットが全くなく、そういう人を雇ったらどういうメリットがあるのか？と質問が上がっていた。また、社会的事業所のメリットであったはずの優先発注がどうやら、シルバー人材とか作業所などの弱者の団体ですでに奪い合いになっているらしい。厚労省の役人は「ハローワークに来ている人は離職という事故にあっている」と今まで「自己責任」と言っていたのをさすがにやんわりとかわす言葉使いだった。　（H）

＜第 9 分科会・交流会＞で朗読

生きること

生きることはつらいこと
悲しいこと楽しいこと
嬉しいこと　それぞれいっぱいある
誰もが　皆　それぞれ　のりこえている
生きていたくっても　死とぶつかることもある
病気をもった方でも　生きようと頑張っている
生きること　すばらしい

ウッドペッカー
（グループホーム）

共同連全国大会に参加して

9 月 24・25 日と共同連大阪大会に参加して来ました。初日の朝 2 時に目が覚めて、そのまま寝ずに参加しましたが、会議中に眠くて仕方がなくて、最後の国会議員の阿部知子先生のお話はバッチリ聴けて「要するに面白くないと眠いのかな」と判りました。この様な研修は参加者同士の交流という意味も大きいと私は考えていて、1 日目の夜にカラオケに行ったのが面白かったです。カラオケという物は唄う曲目でその人が改めて判る、という利点があります。「泉谷しげるの後に椎名林檎かい!?」とか、驚いた事が沢山ありました。今回、勉強の場と楽しい場に参加させて頂いて、本当に有難うございました。　（M）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　SSKU　増刊通巻第 5579 号

法人事務局だより

「障害（しょうがい）」表記について

５月の総会で提案頂きました「障害（しょうがい）」の表記について、7 月の「現場協議会」にて堀副理事長よりお話しを頂き、8 月に 6 か所の現場で話合い等を持ちました。今まで、法人全体で同じテーマで、このような場を持つことが無かったように思います。下記に皆さんからの内容を記載いたします。一緒に耳を傾けてみませんか？

障害者＝障害を受る人として、社会の常識になっているのでしょうか？

『表記を変えたからといって、大きく変化が起きるとは限らない』『障害という字にはこだわらない』『そういうことにこだわる人は少ないのではないか』『健常の人が騒いでいるだけであって、そんなものは、どうでもよい』『表記よりも障害に関する内容を理解してほしい』『障がいのように害の字を使用しないほうがよい』『害の字を意識したことがなかった』『別の表現の方が適切ではないか』『表記よりも理解が進めばよい』『わくわくかんは社会からの避難場所的存在であってほしい。それに沿った表記にしてほしい』『別の表記や言い換えの言葉（「チャレンジド」「要支援者」）がよい』『障害に関しては「差別的」「イメージがよくない」』『表記を変えても差別的扱いがある限り意味はない」』『どちらでもよい』『差別の問題は気持ちの問題であり、表記の問題ではない』『昔は、「きちがい」と呼ばれていたが、敬愛を持って「きちがいさん」と読んだり、「神の子」と呼ばれていたり、悪いイメージを持った言葉ではなかったが、放送禁止用語となった』『あえて「障害」を使う事でアピールになるのではないか』『しょうがい」という読み自体が良くないと思う』『障害者の害の字は、害虫の害と一緒だからイメージが良くない。平仮名が良いと思う』『敢えて害の字を平仮名にする。その行為自体が「障害者」という言葉を差別的に捉えているという事になるため、そのまま変えずに障害者と表記するべき』『害の字だけ平仮名は変。障の字も平仮名にした方が書きやすい』『漢字は書けない』などが出されました。

今後、法人としての「障害（しょうがい）」表記は、次回理事会で決定になります。

ズームイン

就労支援センター北わくわくかんの現状

2016 年４～８月までの就労支援センター北わくわくかんの動きをまとめてみました。

毎年、８月までの相談状況をまとめ区に報告しています。今年度の特徴は、毎月平均 7 名の新規登録の方があり、今まで多かった統合失調症の方を抜いて、気分障害（うつ・躁鬱病）と発達障害の方がそれぞれ 2 倍近く増えています。また、北区障害者福祉センター内にある機能訓練室の紹介による、高次脳機能障害（事故や脳血管）の方の登録も増加し、登録者 610 名中 14 名となっています。なお約 70%近くの方が 40 才以上。また、2018 年の精神障害者の雇用義務化に向けて、就職率もアップしています。

しかし、多くの方の場合、障害特徴として疲れやすく、発病も 20 才以降の方が多く、非正規の働き方の中で毎月年金を納められず病気になられた方は、障害年金の対象にもなりません。特に家賃の高い東京の場合は、生活に困窮していらっしゃる方も多く、空き家問題が取り上げられる中で、日々の住宅問題は大きな課題の１つです。雇用義務化に合わせて周辺の問題にも是非目を向けて頂きたいと思っています。

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　SSKU　増刊通巻第 5579 号

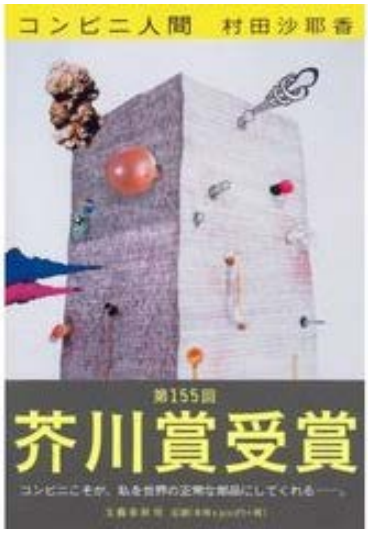
第６回　わくわくかん　家族懇談会のお知らせ

開催日時:　2016 年 10 月 18 日（火）16:00～17:00
場　　所：　障害者福祉センター　４階　自立訓練室
内　　容：　住まいについて　～グループホーム～
個人面談:　※（事前にお申し込みを）17:00～
連 絡 先：　TEL　03－5963－6888　FAX　03－3906－9996

『**コンビニ人間**』（文藝春秋）　**村田沙耶香著**

≪普通≫に隠された影
コンビニという現代社会の居場所

星野智幸著の「俺、俺」の表紙を見たことがあるだろうか。サラリーマン風の男たちがファーストフード店のカウンターに並べられ、ガソリンスタンドで給油をするように口にチューブを入れられている絵である。これは石井徹也氏によって書かれたものであるが、彼の絵は現代を皮肉的に描いている。石井氏はすでに亡くなっているが、生前にこのような言葉を残している。「僕の求めているのは、悩んでいる自分をみせびらかすことでなく、それを笑い飛ばす、ユーモアのようなものだ。」と。本書も同様なのではないだろうか。普通が漠然と蔓延してしまっている世の中では何が普通なのかを考える暇すらない。



コンビニで働くために生まれた古倉恵子は、36 歳独身で、コンビニで週 5 日アルバイトとして働いている。現代社会においては、「負け組」のレッテルが貼られ、焦ってもおかしくない年齢ではあるが、本人は意に介していなかった。朝 9 時から朝礼をし、品物を並べて、レジ打ちをする。元気な挨拶も欠かさない。もちろん、コンビニで勤務している時間だけが彼女の生存理由ではなく、勤務以外の時間も、コンビニで健康的に働くための体を提供するために、夜更かしはせず、清潔感を保てるように爪切りなどの身だしなみも完璧にしている。そんな恵子を普通の妹や普通の友人たちは放っておくわけもなく、私生活を詮索する。恵子は子どもの頃から周囲から浮いた存在で、両親はそんな恵子を治そうと必死だったが、効果がなく大人になった。そしてようやく気づくのである。

「正常な世界はとても強引だから、異物は静かに削除される。まっとうではない人間は処理されていく。そうか、だから治らなくてはならないんだ。治らないと、正常な人達に削除されるんだ。家族がどうしてあんなに治そうとしてくれているのか、やっとわかったような気がする。」

そんな時に恵子のコンビニにアルバイトとして入ってきたのが、白羽というアラフォーの針金のような男性であった。彼もまた、いわゆる社会不適合者であり、ネット企業のアイディアを持ちながら、それに出資してくれる女性を探していた。二人とも誰にも干渉されたくないという共通の目的があったため、同棲を始めることになる。

コンビニとは、よくよく考えてみると社会の略図ではないだろうか。あらゆる商品が安価に売られ、生活するための水道高熱費の払い込みもでき、宅急便を送ったり受け取ったりといったインフラも整備されている。経済産業省による「コンビニエンスストアの経済・社会的役割に関する研究会」の概略によると、経済的役割として雇用や人材、地産池消や農業、商店街などの機能が求められ、社会的役割として防犯、買い物弱者、高齢者の見守りの機能が求められているとされる。また、「既成概念をぶち壊せ！（晃洋書房）」のコンビニの頁には、「コンビニは地域から排除され無視された人々が集う場であり、このような人々が無視されてもなおその地域の片隅で生きていくことを可能にさせてしまう場である。」としている。実際、これはコンビニで働く労働者・消費者ともに同様である。コンビニという住処を手に入れたのは、「普通」から外れた存在なのではないだろうか。しかし、よく考えてみると、「普通」という言葉は非常に怖い。現在の若者言葉でも「普通に美味しい。」「普通に面白い」などという表現がなされるが、これは「自分と同じ感覚を持っている人間ならそうでしょうけど」と暗に隠されたメッセージがあるような気がしてならない。また、適齢期や標準という言葉も同様である。これらは誰が決めるのだろうか。普通の人たちであろうか。本書の古倉恵子の生き様を見て、コンビニに取り憑かれているとして嘲笑する方もいるかもしれない。だが、それこそ「普通」という固定化された社会に取り憑かれているのかもしれない。

（S・H）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2016 年 10 月 6 日発行　SSKU　増刊通巻第 5579 号

虹の影

リボーンプロジェクト　ぼんやりびと

虹をわたって　歩きたいって　思ったことは　ありませんか？
でも僕は　それより　虹のふもとに行って
その虹をくぐって　虹の裏に　まわってみたいですね。
虹の裏側を　見てみたいんです。
眺めは　どういうふうでしょうか。
それから　そのふもとに　虹の影があるか　どうかも確かめて
あったら　それを　踏みつけてやりたいですね。

物事には　表裏があるとか、　どんなものにも　影があるとか
みんな言うから、それをこの目で　確かめてみるんです。

でも　それは　多分　出来ないんでしょうよ。
いくら真実でも　確かめられないことって　あると思うんです。

虹は　やがて　消えてしまいますしね。
僕は走るの遅いですしね。

それでも今度見つけたら　一歩足を踏み出すことに
しようと　思っているんです。

最近の　僕の心境です。

『てんびん』　（まど）

♪♪今年も北精連施設対抗歌合戦♫♫

10 月 25 日（火）、北とぴあにて、「第 5 回北精連施設対抗歌合戦」が開かれます。それに先立ち 9 月 2 日（金）に、歌唱順を決める抽選会が行われました。今回も前年に引き続き 7 施設がエントリーし、抽選の結果、わくわくかんは最後の出番となる 7 番目となりました。
①みのわマック　②ワーク・スペース・ポピー　③支援センターきらきら　④つばさ工房　⑤ワークインあすか　⑥来夢　⑦わくわくかん

就労支援センター北わくわくかん

登録者　（2016 年 8 月末）　618 名
就職者　4 名（事務、軽作業）

先月　ご協力いただいた皆様

・北区障害福祉課・北区健康推進部・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉障害者センター・熊本センター・東京都障がい者就業支援事業所の会・ハローワーク王子・池袋・東京障害者職業センター・東京都精神障害者家族連合会・認定 NPO 大阪精神医療人権センター・NPO 法人こらーるたいとう・全国「精神病」者集団・NPO 法人 DPI 日本会議・韓国京道畿道協同組合協議会・戸田中央看護専門学校・社会福祉法人ドリームヴィ・NPO 法人飛鳥会・東京アドヴォカシー法律事務所・(社福)東京コロニー東京都大田福祉工場・一般社団法人ローランズプラス・（株）ECA・東電ハミングワーク株式会社・社会的企業研究会・株式会社社会評論社

他多くの方にご協力いただきました。

グループホームわくわくかん

グループホームわくわくかんは、男性 1 名、女性 3 名の方が入居中です。男性入居者の S さんは、4 月に入居した時からずっと隣室の N さんとの折り合いがうまくいかず悩んでいました。一時は入居したばかりだと言うのに、一人暮らしをしたいと、保健師さんや家族やワーカーさん手当たり次第相談する程思い詰め、世話人もこれといった解決策が見いだせず困っていました。そんなある日ついに N さんの卒業が決まり、S さんもさぞ喜んでくれると思いきや、「N さんにもっと長く居てもらえるよう言ってもらえませんか？」。これには世話人もびっくり。理由を聞くと「もしかしたら、N さんよりも合わない人が来る可能性もあるから、そしたら N さんの方が良いかなって考えたんですよ。」全くその通りで、S さんが一生懸命考えたご様子が目に浮かびます。GH の入居者さんは、常に全く知らない人たちと、突然生活を始めなくてはなりません。私たち職員は、そんな彼らの姿からとても多くの事を日々勉強させて頂いています。

▼編集後記▼

東京の共同連の仲間、認定 NPO 法人やまぼうしの最新の機関紙によれば、法政大学エッグドームカフェの森下綾子さんが、7 月イタリアで行われた「ダウン症世界水泳選手権大会」で、50m と 200m バタフライで銀メダルを獲得したという。快挙である。森下さんは、日頃、スローワールドカフェで仕事をし、それが終わると水泳の練習に行くスケジュールをこなし、仕事を休むことなく働き手と選手を見事に両立させた。

この機関紙は「かけがえのない命の尊厳とやり直しのきかない人生を大切に!」を特集、「津久井やまゆり園」事件を機に「生涯を通じて地域で生きることを支え合う」ことの意味を 45 年来の知友、藤沢抱一弁護士の奈良の「おおやまと」共同体の戦前から社会的に排除されてきた障がい者・ハンセン氏病の支援をワークキャンプ運動（FIWC）や救護施設にふれ、また施設を出て地域に生きてきた、またそこで起こったさまざまな事件について貴重な報告を載せている。温故知新の世界である。

発行所　郵便番号 157-0073　東京都世田谷区砧 6-26-21　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会　定価 100 円（会費に含む）